

## お客様、お取引先様、関係各位

平素より、お客様におかれましては、弊社店舗をご愛顧賜り、また、お取引様各社におかれましては、弊社とお取引をして頂き、心より感謝申し上げます。

さて、本年5月、弊社が販売した冷凍商品(ギフト商品)の一部について、「賞味期限改ざん」の不正(以下「本件不正」といいます。)が発覚しました。

本件不正に関し、弊社は、保健所のご指示及びご指導に従い、また、社外独立調査委員会及び弊社顧問弁護士を責任者とする社内調査委員会より提出された各調査報告書に基づき、本年7月以降、今一度、お客様、お取引様及び弊社関係者の皆様において、弊社に対する信頼を回復して頂きますよう、本件不正の原因等の分析から導かれた種々の再発防止策を講じ、業務の抜本的改善取り組んでおりますので、以下に報告させていただきます。

先ず、再発防止策の基本的な骨子(指針)は、以下のとおりです。

### 1 法令遵守

弊社の取締役及び管理職は、法令遵守の前提となる健全な職場環境を構築する。

### 2 企業理念

「顧客のために」という当社創業時の高邁な企業理念に回帰する。

### 3 不都合な事実に関する社内(上司-部下)のコミュニケーション

部下は不都合な事実を速やかに上司に報告し、上司は部下からの不都合な事実の報告に対して速やかに適法かつ適正な解決策を模索するという健全なコミュニケーションを確立させる。

### 4 在庫管理のダブルチェック及び正確な棚卸し

倉庫の冷凍食品は、弊社の資産として、常時、正確な数値(データ)を把握する必要があり、そのためには、弊社の流通センターと経理部の2部門で常時適正に管理する体制を構築する。

### 5 賞味期限の管理委託

各倉庫業者に寄託する食品の全てを対象に、他社に賞味期限の管理を委託し、弊社設定の賞味期限の一定日数前に、出荷停止の予告を受ける他律的で厳格な管理体制を構築する。

### 6 廃棄規程の策定

上記5の出荷停止の予告を受けた時、賞味期限の一定日数前までに、転売、寄付又は廃棄を決定し、廃棄の場合、法令に従い、廃棄物業者が適法に廃棄処理する体制を構築する。

### 7 仕入規程の策定

在庫リスクを厭わない大量買付を止め、また、年単位の買付義務を負う契約条件を受諾せず、短期に必要な適量のみを適正価格で購入する無理のない仕入体制を構築する。

### 8 賞味期限の改ざん等に関する就業規則の厳罰化

賞味期限の改ざん等の不正は、懲戒解雇事由として、弊社の就業規則を改訂する。

### 9 内部通報窓口の開設

労働問題以外の食品衛生法、食品表示法、消防法、建築基準法等、公益のための法令に関する内部通報窓口を開設する。

上記の再発防止策の基本的な骨子に基づき、一部、未了又は検討中の再発防止策がありますが、既に、以下の具体的な再発防止策を順次策定し、運用を始めております。

**(1) 品質管理委員会(再発防止委員会)の設置**

品質管理委員会(再発防止委員会)が、品質管理及び商品管理制度を構築するために設置され、同委員会は、再発防止策の策定及び運用に関する進捗状況等について、定期的に、弊社及び弊社顧問弁護士に報告を実施しております。

**(2) 在庫管理、賞味期限管理関連規程の制定及び改定**

賞味期限管理に関連する諸制度、購買管理、販売管理、品質管理、在庫管理、廃棄処理等に関する社内規則を定めた規程集および販売処理マニュアルを整備し、また、全従業員に対し、食品表示法・食品衛生法等の目的・趣旨・構造等に加え、上記規程の理解定着のために、食の安全及び品質の管理(表示)等に関する教育研修を実施し、今後、定期的に実施することを制度化します。

**(3) 在庫管理諸規程に基づく業務執行制度およびシステムの整備**

過剰在庫を起こさないように、発注量の決定、当該商品の賞味期限を含む品質管理書証の検証及び当該商品の規格等を書式化し、組織としての決定経路を明確にし、また、決定された発注量が規程通り発注され、納品・在庫されているかを可視化し、各部門で情報共有するために、店舗の食材発注で用いられている受発注システムを転用し、当該商品等の発注をデータ化しました。

**(4) 在庫商品管理と廃棄ルールの明確化**

外販部で取り扱うギフト商品については、外部委託会社に預託し、外部委託会社が賞味期限管理を行い、当該商品の設定賞味期限の1/3期間到来の前に、当社に対して賞味期限の終期及び在庫数に関するアラートが発せられるようにしました。

また、賞味期限が到来した商品については、外部委託会社から当社品質管理部に通知が届き、品質管理部が産業廃棄物処理業者に依頼し、マニフェスト伝票を取得した上で、適法に廃棄するようにし、賞味期限を過ぎた弊社名義の在庫が物理的に存在しないようにしました。

弊社の取締役及び全従業員一同は、未だ、再発防止策の策定及びその完璧な運用は道半ばの状況であると、常時、謙虚に、かつ、油断なく、肝に銘じ、今後も、より一層のコンプライアンスの深化及び徹底に努め、お客様、お取引先様及び弊社関係者の皆様から信頼して頂ける企業であり続けることができるよう、一丸となって邁進してまいりますので、引き続きのご愛顧の程、伏してお願い申し上げます。

がんこフードサービス株式会社